

# シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
総合的な探究の時間		1	2	/	1～12組

教科書		副教材	未来を拓く探究シリーズ 探究ナビ
			(株式会社ベネッセコーポレーション)

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、
	自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための
	資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

科目の概要	1. 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
	2. 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
	3. 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	◎：効果的に発表する方法を理解し、問いに関する知識を人にわかりやすく説明できるほど十分に有している。 △：発表する方法を理解しておらず、問いに関する知識が不十分である。	◎：根拠が多角的で信頼性の高い情報に十分に裏付けられていて、論理的で説得力がある。反論への視点にも対応している。 △：根拠や裏付けが不十分である。	◎：研究成果を共有するために、表現や構成を工夫しようとしている。自ら計画的に取り組む、提出期限に全く遅れない。 △：表現や構成を十分に工夫しようとしていない。提出期限に3日以上遅れがある。
評 価 の 方 法	・ワークブック ・レポート ・発表	・ワークブック ・レポート ・発表	・ワークブック ・レポート ・発表

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	① 5月12日(木) LHR: 学年集会 ガイダンス ・今後のスケジュールを確認する。	・昨年度各自で決めた課題に対して、 今後、どのように探究活動を行うのか理解する。
	② 6月2日(火) より良い探究活動のために(1) ナビ: シンキングツールを使ってみよう①練習 ③ 6月16日(火) より良い探究活動のために(2) ナビ: シンキングツールを使ってみよう②実践	・探究活動に役に立つシンキングツールの 使い方を理解する。
	④ 6月23日(火) より良い探究活動のために(3) ナビ: 「調べるべきこと」を明確にしよう ⑤ 7月13日(月) より良い探究活動のために(4) ナビ: 整理・分析方法を選ぼう ⑥ 夏休み 各自で探究活動を行う。	・課題に対し、何を調べるべきかを明確にできる。 ・調べる方法を具体的に考えることができる。 ・目的やデータの種類に合わせた整理・分析 方法を選ぶ必要性を理解し、自分の探究に あった方法を選ぶことができる。
2 学 期	⑦ 9月15日(火) 主張を整理し他者に伝える ナビ: 主張を作って、表現の構成を考えよう	・論理的に主張を作ることができる。 ・発表資料や論文などの、表現の構成の概要 をまとめることができる。
	⑧ 10月6日(火) ⑨ 10月27日(火) 各自で発表準備を行う	・各自で探究した内容を他者へわかりやすく 伝えることができる。
	⑩ 11月10日(火) ⑪ 11月24日 各クラス発表会 ・各クラスから1~2名を選抜する ⑫ 12月11日(金) 学年発表会 ・各クラスから選抜されたメンバーによる発表を行う	・各自で探究した内容をより多くの他者へ わかりやすく伝えることができる。
3 学 期	⑬ 振り返り ナビ: 探究全体の振り返りをしよう	・2年間かけて行ってきた探究活動を振り返り、 自分自身が成長したところが具体的にわかり、 次につなげることができる。